



会津大学

マルチメディアセンター

総合案内



うつくしま未来博 マスコット[キビタンファミリー]
平成 3 年 7 月 7 日(土) から 9 月 8 日(日) まで、須賀川市にて開催

福島県の情報科学の産学連携拠点

会津大学マルチメディアセンターは、高度情報化社会の実現に向けて、マルチメディア技術の利用拡大とマルチメディア技術による情報発信を通じた地域振興を図るために作られた施設です。

このセンターは現在のマルチメディア技術を体験していただくとともに、世界に向けて革新的な技術を提案していくための発信基地となるよう、立体映像・立体音響による 3 次元仮想現実世界の提供や、次世代に向けたマルチメディア技術の研究開発を行えるような各システムを有しています。

また、生涯学習の推進、学術文化の向上、産業の振興など、会津大学がめざす地域活性化への貢献策の一環としてマルチメディア・コンテンツの制作・編集のための講習会を開催するとともに、企業の研究開発のための場を提供しています。

<http://www.mmc-aizuprefukushim.jp/>

ようこそ、みなさま。



マルチメディアワールドへ。

マルチメディアとは...

本(文字)、テレビ(映像)、ラジオ(音声)のような既存の情報メディアを電子的に(デジタル化して)統合して、あらゆる形式の情報を統一的に扱うことのできるメディアです。

情報発信や検索、加工の面で優れており(インタラクティブ: 双方向性) 現時点ではインターネットのホームページ上で実現されている音声や動画の機能が代表的です。

将来的にはデジタルで構築された世界が、あたかも、もう一つの現実のように機能するバーチャルリアリティといわれる世界が、マルチメディアの本流として飛び出してくることが予想されています。

識る

飛び出す映像をはじめ、最先端マルチメディア機器を無料で見学・体験できます。

B シアターやエントランスホールで迫力ある映像を体験できます。

体験ルームでインターネットや画像合成等の楽しい体験ができます。

G はじめ各種講習会に参加できます。

創る

CG制作システムをはじめ、様々な最先端マルチメディア機器を低料金で利用できます。

使用料: 1人半日 1,050円から

(高速画像処理コンピュータ ONYX/ONYX2のみ)

* 1台1時間..... 7,530円

結ぶ

4室の研究開発室を開放しています。

使用料: 1人年間 42万円

(1年に満たない場合は月割にできます。)

会津大学の各先生方と皆様との接点を探ります。

産学連携等を希望する企業からの各種ご相談(共同研究、受託研究、企業からの研究助成、寄付等)を承ります。

センター小史

* 1995年7月 オープン。

面積..... 1,155平方メートル

建設費..... 1.4億円(設備費を含む)

* 1998年

7月 新CG制作システム導入

* 1999年

6月 体験ルームの整備

7月 ワークステーションからパソコンベースへセミナールームの環境整備

* 2000年

7月 サウンドクリエーションルームの整備

会津大学マルチメディアセンター

{ お問い合わせ先 会津大学事務局企画課広報連携係 }

〒 965858 0専用番号 福島県会津若松市一箕町鶴賀字上居合 0 番地 Tel 0242-37-2510 Fax 0242-37-2546

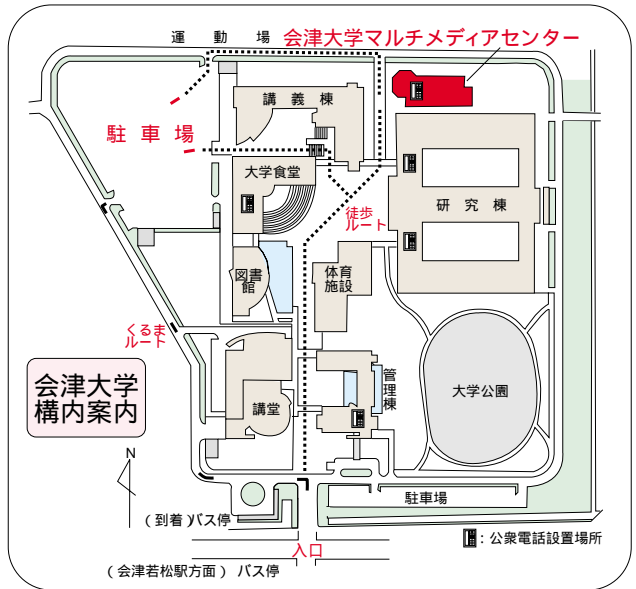
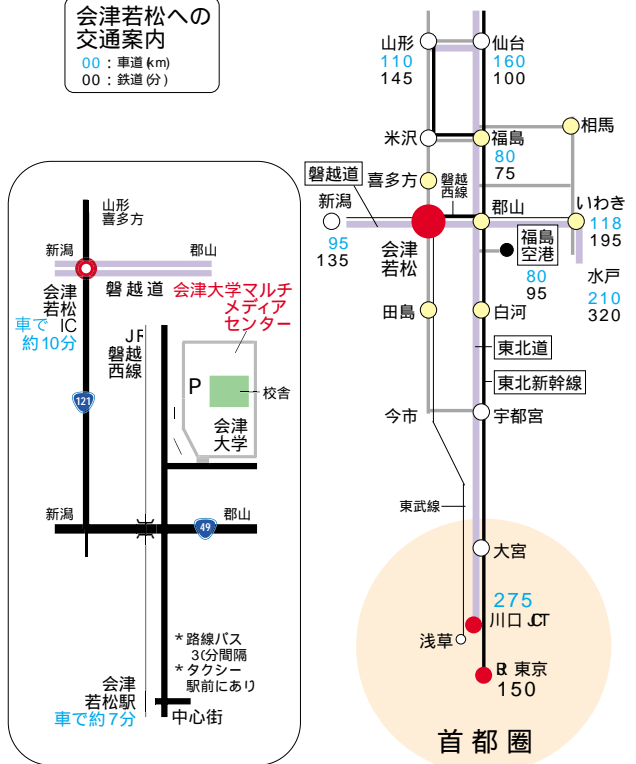
e-mail m.madm@m.m.c-azuprefukushim.jp http://www.m.m.c-azuprefukushim.jp/

見学・体験...無料です。

開館時間..... 9時 ~ 17時

休館日.....土・日曜日、祝祭日、年末年始

会津若松への交通案内
00: 車道(km)
00: 鉄道(分)



セントランス ホール



8

研究開発室



7

運動解析 ルーム



サウンドクリエーションルーム

6



ここが、あなたの自由空間!
情報の収集・蓄積・創出・発信



5 C G クリエーションルーム

高速画像処理コンピュータ (ONYX2、O) による 3DCG 作成、画像合成、ノンリニア編集ができるとともにデジタル VR に G 動画を出力できます。

《主な機能》

各種 3DCG ソフトでのモデリング・レンダリング処理、および G アニメーション作成。

画像合成・ノンリニア編集機による G および実写の画像合成やカット編集。

ONYX2 による高速画像処理。

6 サウンドクリエーションルーム

マルチメディア・コンテンツに必要な音響を制作したり、作品を CD や DAT に保存できます。

《主な機能》

キーボード・トーンジェネレータ・エフェクタ等各種 MD 機器を使用するの BM やサウンドエフェクト等のサウンドトラック作成

DAT/CDROM へのレコーディング

7 運動解析ルーム

人間の動きをコンピュータにデータとして取り込むことができます。そのデータをもとに、G 上での人間の動きをよりリアルに制作したり、スポーツ技術の向上やリハビリ器具の開発、伝統芸能の保存等に役立てることができます。

《主な機能》

D カメラシステムによる、3次元位置データの収集およびデータ変換

水晶式床荷重測定装置での床荷重データ収集

8 研究開発室

産学連携の拠点として、研究開発室 4 室が用意されています。センターに設置されている様々な最先端機器を使用できることはもちろん (一部有料) 会津大学教員との共同研究により、充実した研究環境を獲得することができます。毎年 2 月頃、公募をおこないます。

面積: 24 m 使用料: 1 人年間 4.2 万円



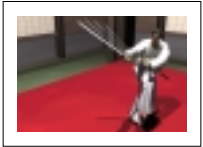


1



2

3 シアター



ウォークスルー 1996 VISUAL SCIENCE LABORATORY,INC.



Now 1995 VISUAL SCIENCE LABORATORY,INC.

1 エントランスホール
ハイビジョン映像と文字、音声及びCG等を上映でき、さらにマルチウィンドウを使って情報の多次元発信ができます。見学・体験用として無料上映の8本のハイビジョン・レーザーディスクを取りそろえています。

《主な機能》
10 インチマルチスクリーンを利用した、6人程度までの各種プレゼンテーション・映像鑑賞。
D・HDD・V6・コンピュータ画面等利用可能。
マルチウィンドウシステムによる多様な情報表示。

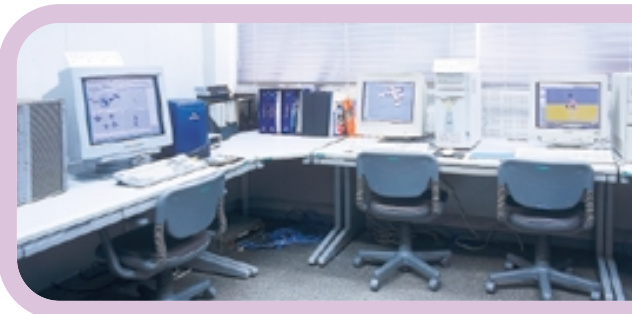
2 3Dシアター
大画面3面マルチスクリーンによる3D映像と立体音響効果で、迫力のある臨場感が体験できます。見学・体験用として各15分程度の2本の作品が楽しみ頂けます。フィルムやVTRからではなく、コンピュータから映像を供給していますので、映画のような一方通行のストーリーではなく、テレビゲームのように双方向のやりとりが可能です。

《主な機能》
3面マルチスクリーン(160インチ×3面)、および7台のスピーカーを利用した、映像・音響の3次元人工世界の体験(最大4名まで収容可能)
レーザーディスクプレーヤー・ビデオディスクレコーダーおよび、グラフィックスコンピュータ(ONYX)の映像出力可能。

3 体験ルーム
マルチメディアに触れながら、楽しく見学・体験できるコーナーです。
インターネット フェイスマウントディスプレイ CG画像合成システム コンピュータ占い プリントシール ビデオ・オン・デマンド

4 セミナールーム
パソコンを使って、Jaa・G等の各種講習会を開催できます。また、センター主催の講習会も開催しています。

《主な機能》
全21台のコンピュータを利用した、インターネット・ホームページ作成・イントラネット・Jaa・G・MSOffice等の各種講習会の実施(3DCGソフトの利用は6台のみ)
デジタルビデオカメラ・デジタルスチールカメラ・A5カメラ・フィルムスキャナを利用した画像、および映像作成(主にV6向け)
70インチプロジェクターを使用した各種プレゼンテーション。



3

体験ルーム



4

セミナールーム



5

CG
クリエイション
ルーム